



ICAP/4 ver8.x.11 Build2641 新しい機能および特徴

改善されたスケマティック OP ラベル :

電流とパワーの OP ラベルをスケマティック上に表示できます。"V", "A", "W"の単位が表示されます。全 OP ラベル用に表示される桁数を指定できます。OP ラベルを再配置でき、リフレッシュした際も維持します。OP ラベル上でマウスを配置した際、そのソースを明確にする"tool tip"が現れます。(1,i(r1), p(r1) 等が表示)

クロスプローブ・テストポイント :

DC 及び OP 解析のためのテストポイントをクロスプローブすることが現在可能です。クロスプローブした際、近くの全パーツあるいはノードがプローブされます。他のオブジェクトの後にテストポイントがある場合もプローブされます。

マウスホイールによる Zoom:

SpiceNet での CTRL キー+マウスホイールはプリンキング・インサージョンボックスに関して、Zoom-in と out を使用することができます。これはそれぞれのマウスホイールクリックに対して10%増加できます。

Zoom 後、インサージョンポイントのセンタリング :

インサージョンポイントは、リサイジング及びセンタリング後、メインのスケマティックウィンドウのセンタがデフォルトになります。

.PAR file:

このファイルは正確な値がサブサーキットの全インスタンスのためにパスされることを確認するために生成されます。ファイルは 2 つのセクションから構成されます。最初、全パラメータがデザインのトップレベルに定義されます。さらに、デザイン内の全サブサーキットで定義された全デフォルトパラメータが、値でリストされます。2 目目のセクションでは、デザインの全サブサーキットのインスタンスに対して、全ての passed parameter がパラメータの計算値に従ってリストされます。

Modified BOM:

現在 Material パーツの Bill は RefDes によって、ソートされます。座標のボードがスケマティック上に表示された場合、追加のカラム内でそれぞれのパーツのドロウイングゾーンが表示されます。

グラフィカルなパーツ配置 :

Parts Bin Window ドライブするダイアログボックスが追加されましたので、スケマティック上に参照したパーツをドラッグ&ドロップできます。いくつかのカスタムビンは、自身で生成可能です。

*Parts Bin Window を常に非表示状態で起動したい場合は、その window を閉じた後、Options メニューの Save Preferences を選択します。

アップデートされた Convergence Wizard :

Convergence wizard は、vesctol,icstep,autotol のような Intusoft の独自のシミュレータ収束オプションを自動的に利用するよう改善しました。

.Model パラメータをスワイプ :

スワイプ・シミュレーション・テンプレートは、現在全ての.model パラメータをサポートします。しかし、同じパーツに属する 2 つの.model パラメータを同時にスワイプできません。





再番号ページ:

SpiceNet の Pages ダイアログは、1 と 3 という番号を付けられた 2 つのページのみを含むスキーマティックのような状況を回避するためページを番号付けすることができます。オプション・ツールバー・ドロップダウンページリストは"Page <n> of <m>"と表示します。<m>は最も大きい有効なページ番号です。

改善された SpiceNet の"Alter":

ISpice4 のデータ設定から Alter で生成された波形ベクタは現在、Alter ダイアログボックス内のデザインノードリストから削除されます。また Alter ダイアログを閉じた際、変更されたコンポーネントの初期値が拡張されます。Alter が Inustscope を起動した際、自動的にバックグラウンドへ移動します。修正されたコンポーネントの RefDes が Alter によって生成された対応波形ベクタの名前に含まれます。(vout_1p00k2"ではなく"vout_r1_1p00k"となります。)

No Derivative Sources:

電圧と電流ソースは、導関数を使用することなくエクスプレッションをサポートするために改善しました。これはシミュレータの以前の状態を使用してソース値が各シミュレーションイタレーションで計算されるということを意味します。DC では、この特徴を可能にするためにエクスプレッションが V=あるいは I=で開始できます。

新たなエラーメッセージ:

無効なコマンドが B エlement エクスプレッションや IsSpice4 の Script ウィンドウで入力された際、新しいワーニングを警告します。

IsSpice4 ホットキー:

IsSpice4 でスクリプトを実行するために Ctrl+R を使用できます。

IsSpice4 での IntuScope Synchron :

IntuScope は IsSpice4 シミュレーションコントロールシミュラスあるいはエクスプレッションダイアログで値を修正した後、新しいシミュレーションデータで自動的にアップデートされ、新しいシミュレーションが実行されます。

ICAPS が適切に閉じることを保証:

ICAP/4 が実行された際、Systray 内に新しいアイコンが配置されます。ソフトウェアの思いがけない問題でシャットダウンした後で全てを開始できます。

同じプロット図へのプロット:

同じノンデフォルト状態の x 軸での複数のトレースは同じプロット図にプロットすることができます。以前はノンデフォルト状態の x 軸の全プロットを別のプロット図にプロットしていました。

分類されたトレースリスト:

各プロットのトレースリストは、現在順序よくアクティブトレースに分類されます。Y 軸レジェントはトレースの右側に描画されます。

"Setautoscale" ICL Command:

このコマンドはスクリプトの持続のためオートスケールモードを設定します。スクリプトの完了後、モードは Add Waveforms ダイアログのある設定に戻ります。

新しいパワフルなモデル:

BSIM モデルはバージョン 4.4.0 にアップデートされました。PowerMOS モデルタイプが SpiceMod に追加されました。434 以上モデルが、Intusoft のパーツライブラリに追加されました。





【お問合せ先】

株式会社アイヴィス

TEL (045) 332-5381

FAX (045) 332-5391

Email support@i-vis.co.jp

HP <http://www.i-vis.co.jp>

